

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ドリームズ2 1st 津藤方校				公表日	2026年 7月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・学習、PCレッスンで部屋を分けている点。 ・スペースが充分にあり、利用者も伸び伸び過ごしている。 ・3つの部屋を使いわけ、必要に応じて個別支援ができるようになっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	1	・最大人数時は、目が届かない所でトラブルが起きてしまうので増員して良いと思う点。 ・児童、生徒がひとりだけになることがないような工夫をしている。	職員の教室毎の配置など、事前に生徒情報と照らし合わせてパワーバランスも踏まえて事前に打つ合わせをする	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・学習スペースと遊びスペースがしっかりと分けられている。 ・視界に入る情報量の調整や、個々に合わせた文字の大きさなどといった点。 ・学習の部屋と遊びの部屋が分かれている。 ・特性に応じ、PC,机,椅子など配慮・工夫されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	・そうじや換気に配慮している。 ・こどもたちの活動に合わせ(PC,学習,遊び)た空間が利用できるようになっている。 ・こども達の興味、関心に合わせた遊具などを設置している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・部屋が複数あり、個別になれる。環境を準備できる。 ・音読など		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・小・中学部ともにおわりの会を終えた後その日の感想などを会話している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・スタッフ同士、気づいた所を共有できる。意見を言いやすい雰囲気でもとても良い。 ・開始前に今日の人数や内容共有の機会がある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・個人の学習,レッスン内容がまとめられている点		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・利用者一人ひとりに合わせた計画が作成されている。 ・子供の特ちょう、保護者のニーズを分かりやすくまとめたものがあり、支援の際にとっても助かっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・その日の状態や行ったことを記入している。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	・全員完璧にできているとは言えない。早急に支援が必要とされる児童には設定されているので、今後全体に波及させる必要があると思われる。	支援計画の更新時やトラブルが起こったときだけでなく、スタディーケースなどを話し合い事前に理解を深めて、共有支援を図りたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・長期休み時に様々なイベントを考えている点。 ・長期休みなどイベントを計画している。 ・料理、遊び、SSTなど様々なイベントがある。 ・小学部の課題をやる時間は子どもたちが自ら考え、中学部は学習がPCも自ら選択できるようになっていて、固定化されず子どもたちが自分で計画し実行できる機会となっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別活動と集団活動がバランスよく行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・開始前に小ミーティングがあり、内容や役割について共有でき、スムーズかつ適切な支援をすることができる。 ・今日の人数や行うことを確認	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・必ずとは言いつれない点。 ・今日の感想や変化などを変化などを話す。	正規職員だけでなく、途中から出社する職員にも、報告を受けるだけでなく、お互いに意見を出し合える時間帯を設ける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・日報を書いて記録している点。 ・毎回記録をつけ、それを共有している。 ・記録をとり、必要に応じて共有できるので、前回もっと〇〇すればよかったなどの反省点が改善でき、子供たちにとっても活動しやすい環境になっていると思う。 ・日々の取り組みを記録して合わせた活動をすすめる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	1	1	・多様な遊びや体験活動・こどもが主体的に参加できる活動は少ないように感じる。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・子供たちが意欲のあるレッスンを適行している点。 ・利用者に選択させて取り組ませる機会が多くある。 ・子どもにいくつかの選択肢があたえられていて、自己選択を促す声掛けが多い。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・すぐに相談されている点。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・該当者なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	・記録を残し、共有している。 ・発生した事案などから改善に取り組む工夫をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2			